



九条だけではない自民党の憲法改定草案

宗教と政治

従来、自民党の憲法改正草案は平和憲法としての九条を骨抜きにする事を目指している」と理解されていた。

しかし、憲法学者蟻川恒正氏は1月24日の朝日新聞への寄稿で、自民党が憲法二十条の改定を目指している事を指摘。

現憲法二十条第一項は「宗教の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、又は政治上の権力を行使してはならない」とあり、宗教は政治に介入出来ない。

自民党は、この朱記部分を削る提案をしている。これは、国家神道を擁した明治憲法への回帰を目指しているのだろうか？

しかし、統一協会Ⅱ世界支配を目指す教団

としては朱記部分が問題だったのだ。

更に自民党案は第三項「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」に「ただし、社会的儀礼又は習俗的行為の範囲を超えない限りでない」を加える。

つまり「社会的儀礼」と云えば国も宗教活動ができるようにするのだ。

「教団と安倍氏、大昔から関係」細田議長

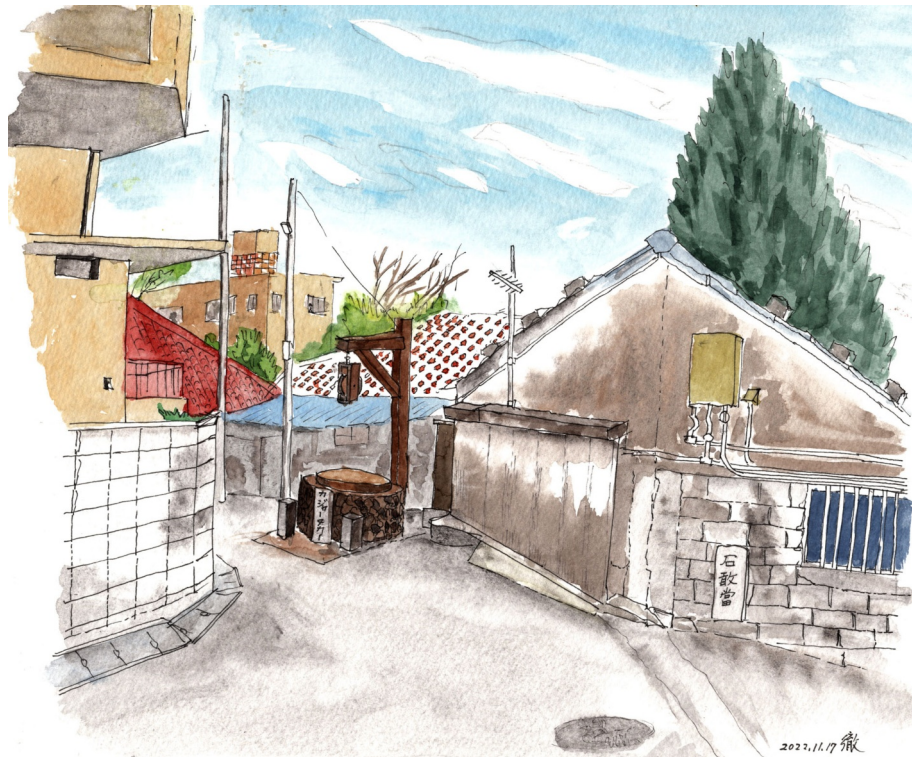
与野党代表者への細田氏の説明だ。この憲法改正草案が決められたのは二〇二二年四月。その約半年後の選挙で民主党惨敗、第二次安倍内閣が発足。

統一教会と自民党がどのように連携したのか今なら想像できる。あなたはどう思われますか？

カジヤーマカー(鍛冶屋の井戸)

沖縄県石垣市新川

二〇二二年十一月



五六六号で紹介した「新生井戸」(アラマリナー)を探して路地をうろろろしていたら、この井戸があった。

子供が落ちないように井戸には蓋がしてあったが脇の柱と滑車で釣瓶井戸と分かった。調べたら「カジヤーマカー」。つまり鍛冶屋の井戸。右手の建物が元は鍛冶屋だったのだろうか？

真ッ赤に熱した鉦なたを親方が左手のやつとこで金敷きに乗せ、右手の小ハンマーで叩く。すかさず弟子が同じ所を大ハンマーで叩き、火花が散る。繰り返して叩き鍛えるのだ。

なお、出典によって「カジヤーマ」となっていたり「カジイヤーマ」となっている。

先に触れた新生井戸は、水面まで降りて水を汲む「下がり井戸」。こちらは釣瓶式。こちらが新しいのだろう。

